施工説明書

TOTO

小型電気温水器

排水ホッパー（膨張水処理用）
RHE22H型、RHE97H型、RHE98H型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

タイプ	品番	対応排水配管仕様	備考
密閉式	RHE97H-32	φ32	洗面所用
	RHE97H-25	φ25	
	RHE97H-38	φ38	
	RHE98H-50N	G2	キッチン用
開放式	RHE22H-32	φ32	洗面所用
	RHE22H-50N	G2	キッチン用

1 安全上の注意

安全のために必ずお守りください

取付工事の前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。この施工説明書では、商品を正しく取り付けていただき、使用者への危害や財産への損害および工事者への危険を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示は、次のようになっています。

表　示	意　　味
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの可能性が想定される内容を示しています。

絵表示については次の意味があります。

絵表示	意味	絵表示	意味
⃠	一般的な禁止	❗	必ず実行

⚠注意

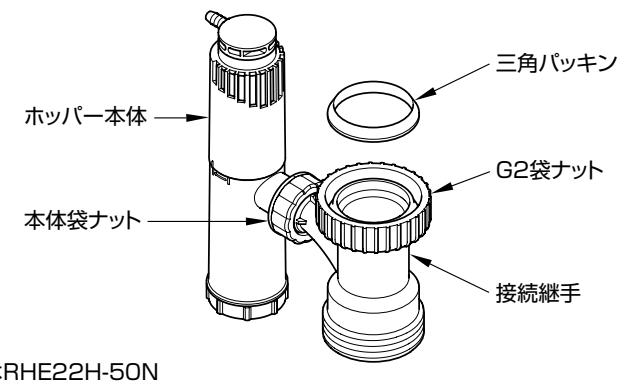
禁止	点検・修理時に逃し弁の動作確認する場合は、逃し弁から電気温水器内の湯を直接排出しない （湯が熱い場合は排水管をいためるおそれがあります。）
	排水ホッパー取り付け時の傾き、鉛直に対して全方向10°を越える取り付けはしない　（水漏れするおそれがあります。）
必ず実行	洗面器の排水管は、耐熱性のものを使用する （熱により変形、割れなどで水漏れするおそれがあります。）
	袋ナットや水抜きキャップの締め付けは排水ホッパー本体を保持した状態で手で確実に締め付ける • 無理に工具で締め付けると、部品を破損するおそれがあります。 • 締め付けが不十分な場合、水漏れするおそれがあります。
	排水ホッパーホースは継手部の根元まで手で差し込みホースクランプを確実に取り付ける　（水漏れするおそれがあります。）
	水抜きキャップを開ける際は、排水ホッパーを手でしっかり持つ また、水抜きキャップを着脱する際は、ペンチなどの工具は使わない （部品が破損するおそれがあります。）

2 部品の確認

まず、次の部品があることを確認してください。

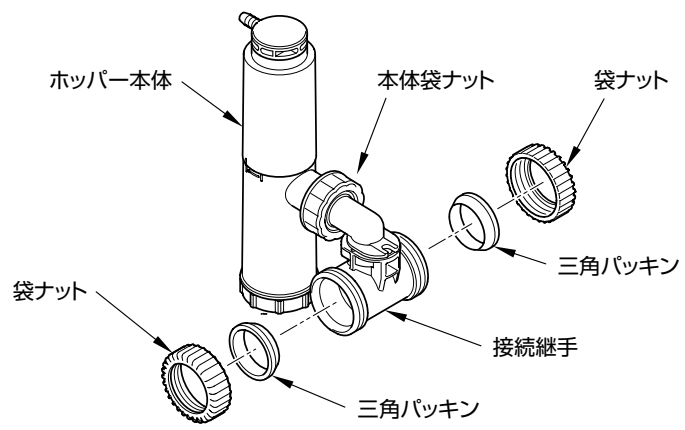
本体部・継手

RHE98H-50N RHE22H-50N



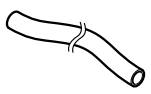
※イラストはRHE22H-50N

RHE97H-32 RHE22H-32
RHE97H-38 RHE97H-25



※イラストはRHE97H-32

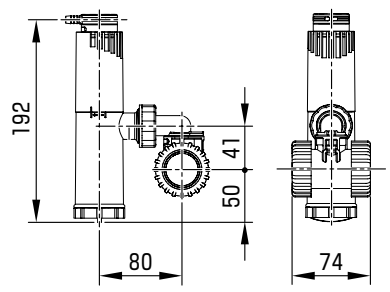
共通部品

排水ホッパーホース	ホースクランプ
	
L=800mm 1本	2個

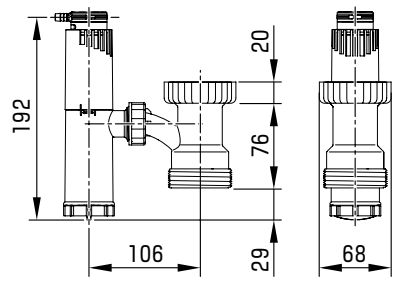
3 寸法図

単位:mm

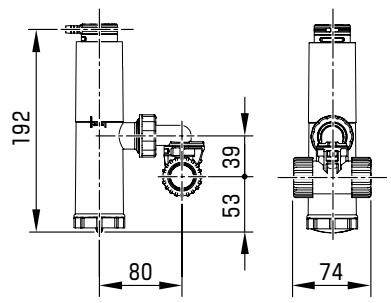
RHE97H-32
RHE22H-32
※イラストはRHE22H-32



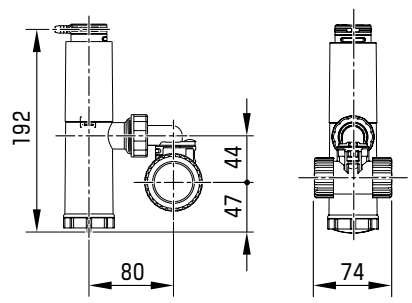
RHE98H-50N
RHE22H-50N
※イラストはRHE22H-50N



RHE97H-25



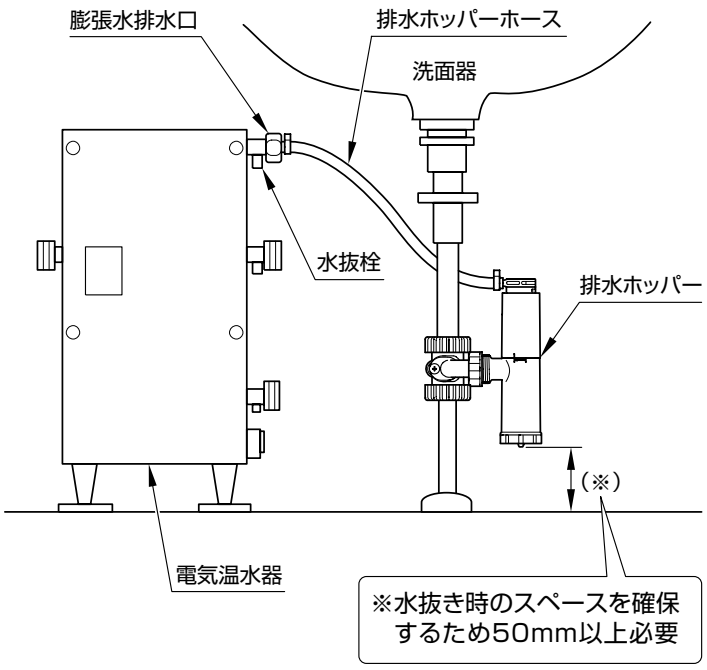
RHE97H-38



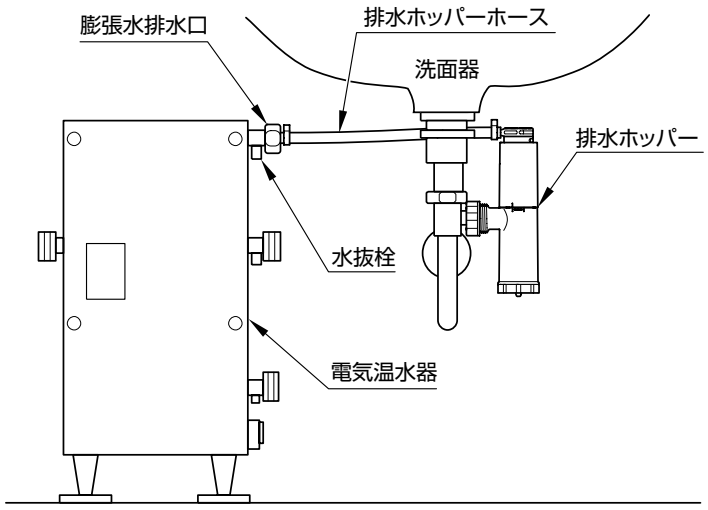
4 完成図

1.REWとのセット例

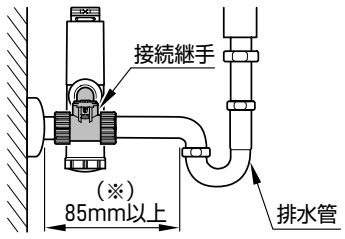
《床排水（Sトラップ）の場合》



《壁排水（Pトラップ）の場合》



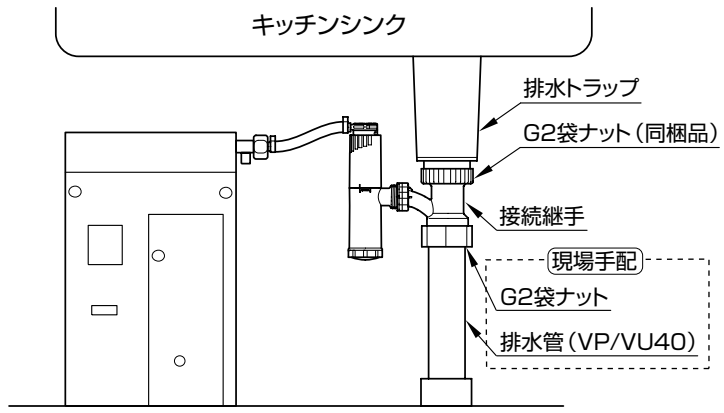
側面詳細図



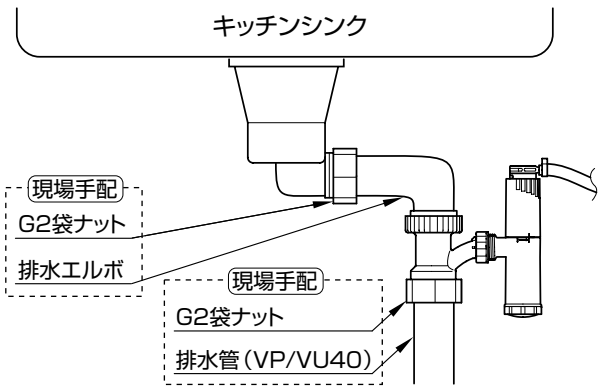
※接続継手を排水管に取り付けるためのストレート部寸法は、85mm必要です。確保できない場合は、排水ホッパーを取り付けることができません。

2.REKとのセット例

《排水トラップがG2おねじ（標準施工）の場合》



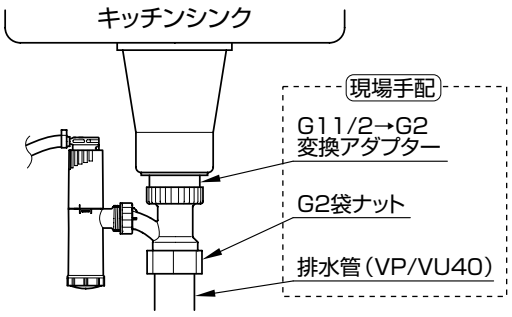
※横出しトラップの場合



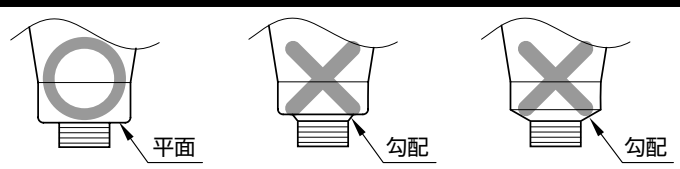
4 完成図（つづき）

《排水トラップがG2おねじ以外の場合》

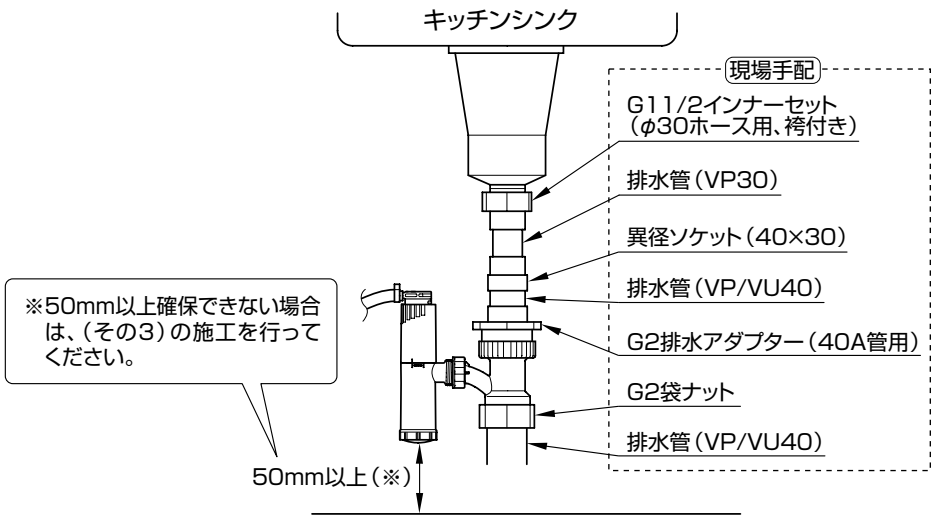
排水トラップがG11/2おねじの場合（その1）
［トラップ底面が平面の場合］



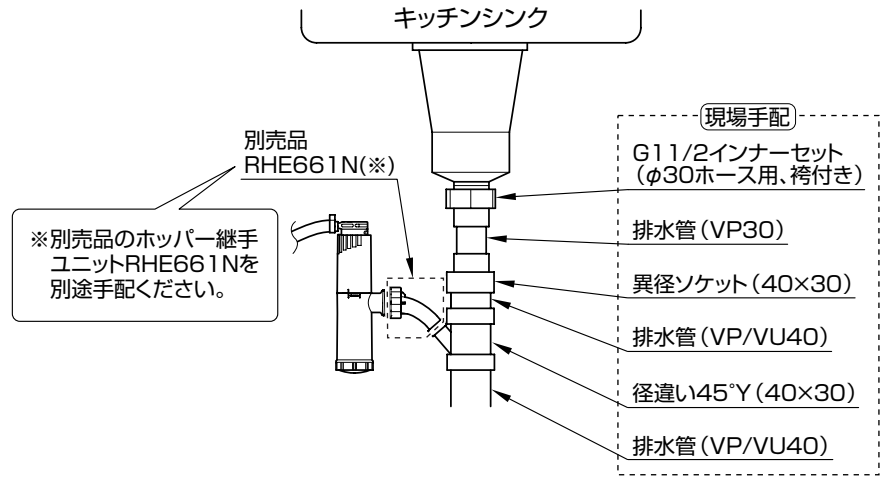
底面に勾配のついた排水トラップに変換アダプターは使用しないでください。



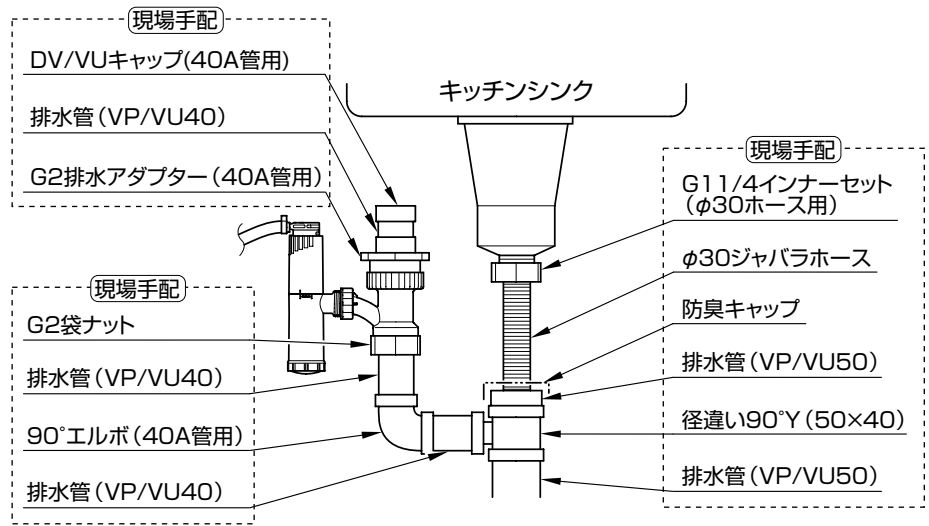
排水トラップがG11/2おねじの場合（その2）
［トラップ底面が勾配付きの場合］



排水トラップがG11/2おねじの場合（その3）
［トラップ底面勾配付きの場合］



排水トラップがG11/4おねじの場合



5 施工

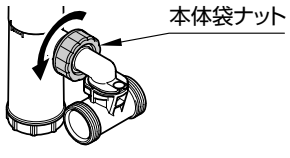
1.継手組み替え（洗面所用のみ）

排水管が床排水（Sトラップ）の場合
接続継手の組み替え作業が必要

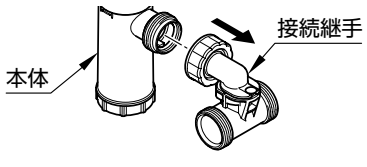
（出荷時は、壁排水用に組み付けています。）

[組み替えの手順]

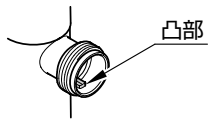
①本体袋ナットを外す。

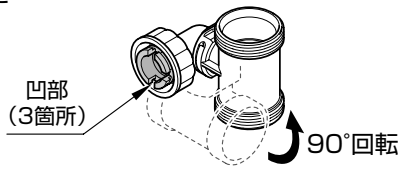


②接続継手を本体から引き抜く。



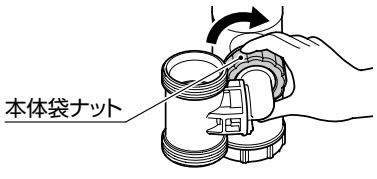
③引き抜いた接続継手を90°回転させ凹凸の爪を合わせて取り付ける。





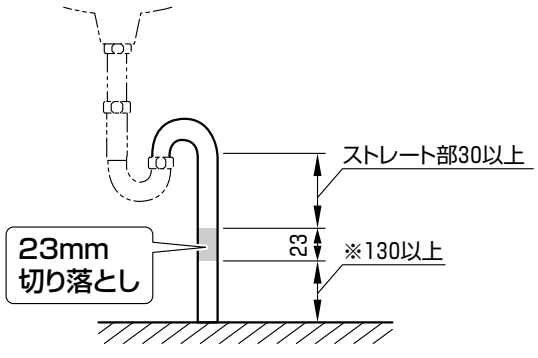
（Oリングを傷つけないように気を付けてください。）

④本体袋ナットは、緩みのないように、手で締め付ける。



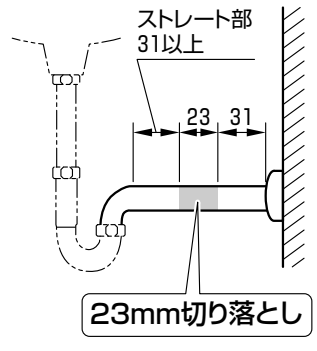
2.排水管の切り落とし

《洗面所用　床排水（Sトラップ）の場合》



※水抜きに必要な寸法

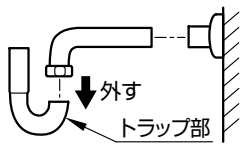
《洗面所用　壁排水（Pトラップ）の場合》



3.排水管への接続継手の取り付け

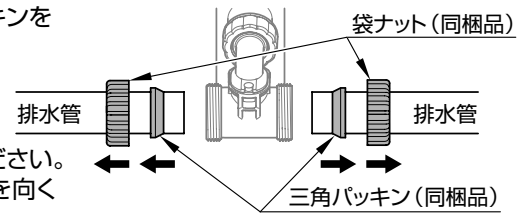
《洗面所用の場合》

注意



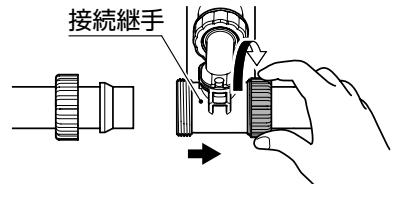
排水ホッパーを取り付ける際は、排水管のトラップ部を外してください。

①袋ナットを排水管に挿入し、次に三角パッキンを挿入する。



※三角パッキンの挿入方向を注意してください。
（テーパー部が排水管の切り落とし側を向くように取り付けます。）

②排水管に接続継手を奥まで差し込み、手で袋ナットを締め込む。

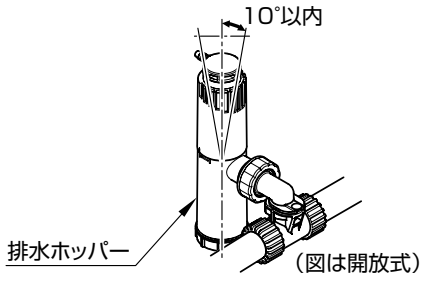


③もう一方の排水管を接続継手の奥まで差し込み、手で袋ナットを締め込む。

5 施工（つづき）

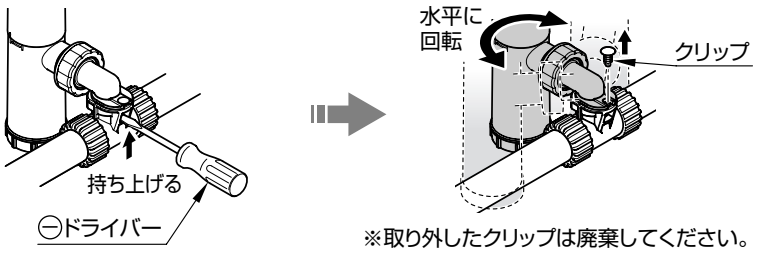
取り付け時の注意点

排水ホッパーの傾きは鉛直に対して全方向10°を超える取り付けはしない。
（水漏れのおそれがあります。）



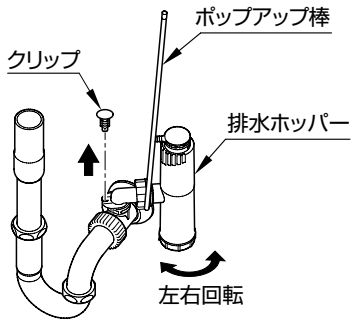
排水管が壁排水（Pトラップ）で
排水ホッパーが障害物と干渉する場合

配管類や水栓のポップアップ棒などが排水ホッパーに干渉しそうな場合は、⊖ドライバーなどでクリップを上向きに抜き、排水ホッパーを回転させて逃がす。
（Sトラップの場合は取り外さないでください。）



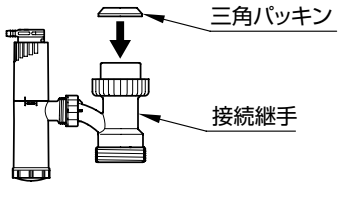
※取り外したクリップは廃棄してください。

設置例

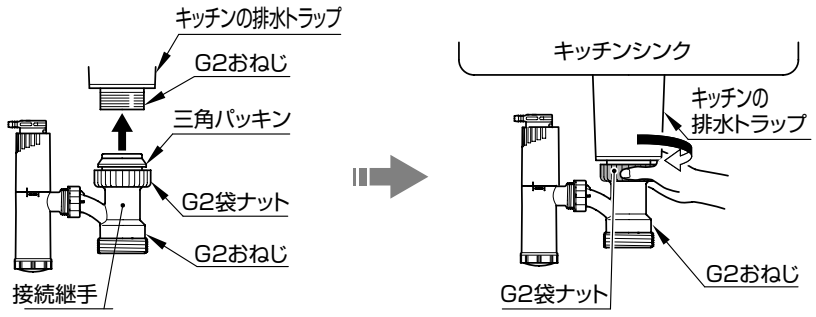


《キッチン用の場合》

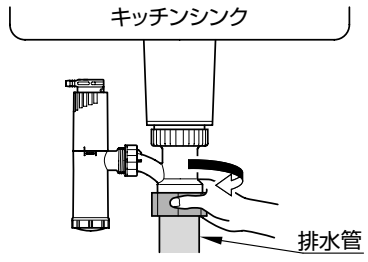
①接続継手に三角パッキンを取り付ける。



②キッチンの排水トラップに直接、接続継手の袋ナットを手で取り付ける。



③接続継手に排水管を取り付ける。

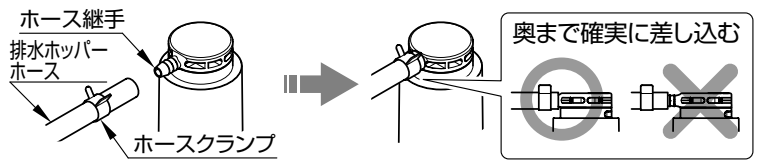


5 施工（つづき）

4.排水ホッパーホース取り付け

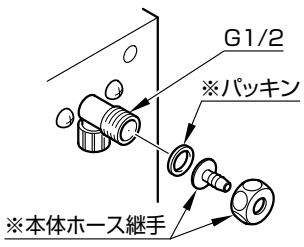
①排水ホッパーホースにホースクランプを取り付ける。

②排水ホッパーのホース継手に排水ホッパーホースを奥まで確実に
差し込み、ホースクランプで、しっかり固定する。



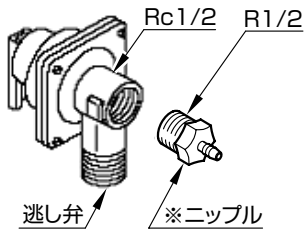
③電気温水器の膨張水排水口に同梱の本体ホース継手を取り付ける。

《接続口がG1/2おねじの場合》



※本体ホース継手・パッキンは　電気温水器に同梱されています。

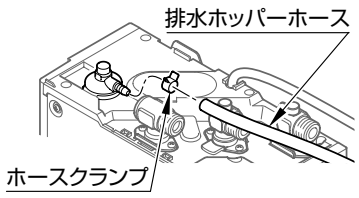
《逃し弁外付き機種の場合》



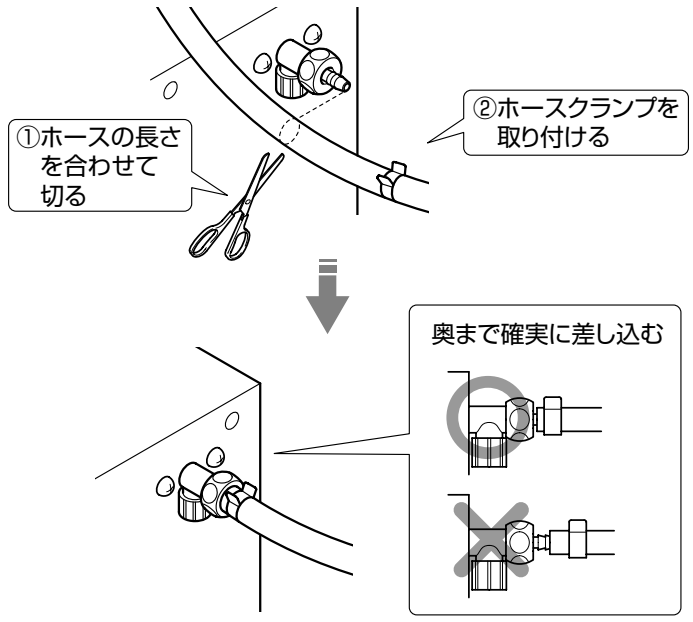
※ニップルは電気温水器に同梱されています。

《継手不要の場合》

本体ホース継手の取り付けは不要です。排水ホッパーホースは、直接電気温水器本体に取り付けてください。



④電気温水器側に排水ホッパーホースを取り付ける。
排水ホッパーホースがたるまないように長さを合わせてはさみなどで切断する。
（ホースをつぶさないように切断してください。）



注意	はさみなどを用い、切断面が垂直になるように切断してください。 排水ホッパーホースが長すぎると、折れ曲がり排水ができなくなります。
	排水ホッパーまでの間が逆勾配になっても支障はありませんが、万一凍結の恐れがある場合は、排水ホッパーホースの水抜きを行ってください。
	（注）6.水抜き方法をご確認ください。

水漏れ確認方法

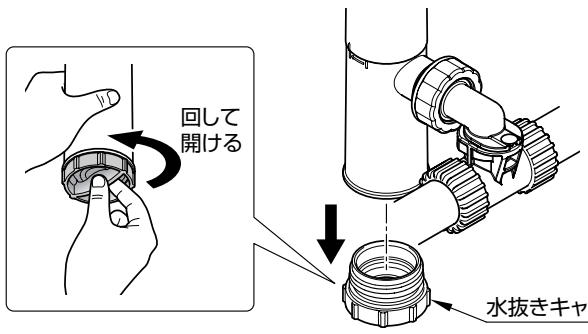
① タンク内に水を入れて、満水にする。
② 逃し弁手動レバーを引き上げ、排水ホッパーに導水させる。
③ 配管接続部からの水漏れがないことを確認して、異常がない場合は逃し弁手動レバーを元に戻す。
（注）水漏れの場合は、5.施工を再度確認ください。

6 水抜き方法

電気温水器の試運転後、引き渡しまでに凍結のおそれがある場合は、次の要領で排水ホッパー内の水を抜く。

①電気温水器に同梱されている取扱説明書に従って電気温水器の水抜きをする。

②排水ホッパーの水抜きキャップを外す。



⚠ 注意

水抜きキャップを開ける際は、排水ホッパーを手でしっかり持つ
また、水抜きキャップを着脱する際は、ペンチなどの工具は使わない
（部品が破損するおそれがあります。）

7 水抜き後の処理

①電気温水器に同梱されている取扱説明書に従って水抜き後の処理をする。

②排水ホッパーの水抜きキャップを締め付ける。